

【15】馬術競技

1. 期 日 2023年6月24日（土）～25日（日） 2日間

日 程	競技番号	競 技 種 目	予定時間
第1日 6月24日	第1競技	成年男子 馬場馬術競技	7:30
	第2競技	成年女子 馬場馬術競技	8:40
	第3競技	少 年 馬場馬術競技	9:50
	第4競技—1	成年男子 国体総合馬術競技（馬場馬術）	11:00
	第5競技	成年男子 標準障害飛越競技	13:50
	第6競技	成年女子 標準障害飛越競技	15:10
	第7競技	少 年 標準障害飛越競技	16:30
第2日 6月25日	第4競技—2	成年男子 国体総合馬術競技（障害飛越）	8:00
	第8競技—1	少 年 団体障害飛越競技（第1回戦）	9:30
	第8競技—2	少 年 団体障害飛越競技（準決勝）	
	第8競技—3	少 年 団体障害飛越競技（決 勝）	

2. 会 場 三木ホースランドパーク
〒673-0435 三木市別所町高木
TEL 0794-83-8110 FAX 0794-83-8081

3. 種別（種目）及び参加人員

区 分		選 手		馬 匹	
		個人(1府県)	団 体	個 人	団 体
監 督		1	—	—	—
ホースマネージャー		1	—	—	—
選手種別	成年男子	8	—	7	—
	成年女子		—		—
	少 年		2		1
1 府 県 小 計		10	2	7	1
参 加 府 県 数		6	6	6	6
合 計		60	12	42	6

※ 監督・ホースマネージャーは、選手を兼ねることができる。（この場合、選手の数、プラス1または2となる。）

※ 団体競技に参加する選手及び馬匹は、個人競技にも参加することができる。

4. 種目別実施要項

種別	種 目	実 施 要 項
----	-----	---------

成年男子	標準障害飛越競技	高さ1.40m以下、幅1.50m以下、水濠幅3.50m以下、13障害以内、速度375m/分、全長約500mとする。
	国体総合馬術競技	馬場馬術 国際馬術連盟制定の総合馬術競技・馬場馬術課目3スター2021 B を実施する。 障害飛越 高さ1.20m以下、幅1.40m以下、障害数10～11個、/最大飛越数14以内、速度350m/分、全長約600m以内とする。
	馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
成年女子	標準障害飛越競技	高さ1.25m以下、幅1.45m以下、水濠幅3.50m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
少年	標準障害飛越競技	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のジュニアライダー個人競技馬場馬術課目を実施する。
	団体障害飛越競技	高さ1.10m以下、幅1.30m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。

5. 競技上の規定及び方法

- (1) 選手・馬匹は、個人競技と団体競技に重複して出場することができる。
- (2) 各府県は、各種別の馬場馬術競技には1名、各種別の標準障害飛越競技及び成年男子国体総合馬術競技については2名出場できる。なお、一つの種目への出場は、1名1回、1頭1回限りとする。
- (3) 個人競技では全種目を通じて選手の出場は、1人2種目まで、1頭6種目までとする。
- (4) 個人競技に5頭以上申込する場合、1頭は内国産馬とすること。
- (5) 予備選手は種別ごとに2名以内、予備馬は3頭以内を登録することができる。
- (6) この競技会は、日本馬術連盟競技会規程最新版及び国民体育大会馬術競技規定最新版を適用する。
- (7) 服装及び馬装は規程の定めるところによる。障害飛越競技の場合は必ず固定式顎紐付き乗馬用保護帽を着用すること。なお、上衣には府県名を明記すること。
- (8) 参加申し込み締め切り後の追加申し込みは受け付けない。
- (9) 参加申し込み後の人馬の交代は、特別の事情（死亡、負傷、疾病、転勤等）がある場合に限り認める。交代する人馬はいかなる場合でも予め参加申込書に予備登録人馬として記載されていなければならない。届出の手続きは、監督会議の前日までにそれを証明する書類を添付し、文書により京都府実行委員会・京都府馬術連盟宛届けなければならない。所定の手続きに基づき提出された交代届は、監督会議の決議を経て承認される。

6. 参加資格、所属府県及び選手の年齢基準

特別国民体育大会総則5に基づいた条件を有することのほか、次による。

- (1) 選手は、参加申し込みの時点で、公益社団法人日本馬術連盟の会員で、騎乗者資格B級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗者資格B級以上の資格がない場合は、公益社団法人日本馬術連盟の会員であることのほか、参加府県の馬術連盟（協会）会長が発行する技能証明書を参加申し込み締切日までに公益社団法人日本馬術連盟に提出（郵送）すること。
- (2) 少年種別に参加できる者は、中学3年生を含む2009年（平成21年）4月1日以前に生まれた者から2005年（平成17年）4月2日以降に生まれた者とする。
- (3) 参加馬は、公益社団法人日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 馬匹は、参加府県を重複して出場することはできない。ただし、団体障害飛越競技の対戦相手チームに提供する馬匹を除く。
- (5) 参加申し込み（出場選手・馬匹登録）は、参加申し込み締切日までに公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システムにて行うこと。ただし、参加申し込みを行う選手とブロック大会の実施

要項で規定された予備登録選手以外は登録できない。

- (6) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認馬術コーチ1、公認馬術コーチ3のいずれかの資格を有する者であること。

7. 予選方法

- (1) 個人競技選手・馬匹は、個人競技と団体競技に重複して出場することができる。

1. 各種別種目毎に下記表の得点を与える。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

なお、同順位の場合は、その競技得点を共有し、次の順位を欠位とする。

ただし、馬場馬術競技については45%以上の得点を入賞とする。

2. 府県の順位は個人競技得点の合計で決定する。

ウ. 合計点が同一の場合は、1位種目の多い府県を上位とし、なおかつ同一の場合は2位種目、なおかつ同一の場合は3位種目の多い府県が上位となる。更に同一の場合は、4位種目、5位種目、6位種目、7位種目、8位種目まで同様にして順位を決定する。それでも順位が決定しない場合は抽選による

- (2) 団体障害飛越競技

ア. 2名戦でトーナメント方式とし、出場府県が1頭の馬匹を提供し、その提供馬の府県の選手が前段に騎乗するものとする。(選手は出場枠内で3名まで登録することができる。)

イ. 3～4位の順位は、準決勝戦の自馬の成績(減点及び所要時間)で決定する。

ウ. 5～6位の順位は、1回戦の自馬の成績(減点及び所要時間)で決定する。

8. 本大会出場の決定方法

- (1) 個人競技

- 個人競技の総合成績により別表の範囲内で実数を割り当てる。
- 本大会参加種目の選択は、個人競技総合成績上位の府県から別表の割り当てに基づき行う。
- 棄権がある場合は、規程の枠内で上位府県より配分する。
- 少年種目に残りがある場合は、団体障害飛越競技1位の府県に個人種目2種目を割り当てる。
- 上記選択の結果、種目に残りがある場合は、監督枠として上位府県より選択する。
- さらに種目に残りがある場合は、ホースマネージャー枠として、上位府県より選択する。
- 以上においても、まだ種目に残りがある場合は、当ブロックの棄権種目とする。

- (2) 団体障害飛越競技

優勝府県が出場権を得ることとする。

[別表]

競技	成績	選手数(種別割)	馬匹数	種目数
個人 競技	1位	8(3・2・3)	7	17
	2位	6(2・2・2)	5	13
	3位	4(2・1・1)	3	8
	4位	3(1・1・1)	2	6
	5位	3(1・1・1)	2	6
	6位	3(1・1・1)	1	6
	小計	27(10・8・9)	20	56
団体 競技	少年	2	1	団体1+α
	小計	2	1	団体1+α
監督				+α
ホースマネージャー				+α

